

# 株式会社 芦原冷間鍛造

## 事業内容

主に自転車部品や釣り具、建機に  
使用される鋼やアルミ合金の  
冷間鍛造部品の製造

真似のできない技術と品質管理で

“メイドインジャパン”の信頼を支える。



1 2 工場にはさまざまなプレス機があり、自動車や釣り具、建機の部品を作っている。工場はキレイに片付けられスタッフによる「安全パトロール」が当番制で行われている 3 クレーンを使うので、女性でも作業しやすい。急な休みの申請にも柔軟に対応しているため、家庭との両立も可能

### 「冷間鍛造」のスペシャリストを育てる。

「冷間鍛造」は金属を強くし成型する技術の一つです。刀鍛冶のように鉄を熱くして加工することを「熱間鍛造」というのに対し、「冷間鍛造」とは常温のまま金属を加工することを意味します。芦原冷間鍛造は業界でもいち早くアルミの部品製造を手がけ、その希少性から注目を集めています。

プレス機を使って手動作業でパーツを作り、部品にキズがないかをチェック。シンプルな作業ですが、材料をプレス機に置く位置や潤滑材の塗り方で完成度が左右されるため、経験と知識が必要になります。未経験者でも最初の1カ月は社長や先輩スタッフがマンツーマンで指導し一緒に作業をするので、

分からないところはすぐ質問でき、早くコツをつかめます。

### 自分のペースでものづくりに打ち込める。

仕事はライン作業ではないので、目標に合わせて自分のペースで集中できるのも魅力。一人1台プレス機を担当し、自分で作業の工夫をしたり、休憩のタイミングを図ったりと効率的に仕事ができます。重い部品の運搬もクレーンを使うので、女性でも安心。クレーン関連の資格取得にかかる費用は会社が全額負担し、その他の業務に役立つ資格も補助の対象に。社員数20名弱の少数精鋭ながら、社内の雰囲気はアットホームで社長との距離も近く、誇りを持って長く働ける環境です。



## 芦原冷間鍛造 のすごいところ

### Q 会社の自慢を教えてください!

A コストや必要な設備など基本的なことから最適な鍛造工程、鍛造形状などの専門的なことまで的確にアドバイスし、金型設計から試作まで製品開発を全力でバックアップ。量産できないパーツを手作業で作り、安定した品質で納品しています。有名なアウトドアメーカーにも部品を供給しており、世界大会などで当社の部品が使われている製品が登場する時もあります。



### Q この先、目指していることは?

A 現在、車の製造は燃費や環境への配慮から軽量化が進み、アルミ製のパーツに注目が集まっています。当社は日本でも少ないアルミ合金の冷間鍛造に40年以上前から取り組んでいる、希少な会社です。鋼には鋼の、アルミにはアルミの鍛造のやり方があり、長年知識と経験を積んできた人しか分からないノウハウが蓄積しているので、徐々にシフトしつつあるアルミ化にいち早く対応できると自負しています。



みました。

聞いて

気になること、

### Q 仕事にはどんな人を求めていますか?

A まずはものづくりが好きで、コツコツ真面目に作業できる人。パーツごとに担当が分かれ、それぞれの場所で仕事をしていくので、集中して黙々と作業したい人が向いていると思います。

### Q 就活中の皆さんにメッセージをお願いします。

A 福井県内には全国トップクラスの技術を持った企業がたくさんあります。そこに目を向けて、ネームバリューだけでなくしっかりした製品を作っている会社を調べて就職するのも良いと思います。



代表取締役  
姉崎 健司さん

### こんな職場です

少数精鋭ながらも  
アットホーム。



スタッフの男女比は半々で、高い技術と熱意を持って働いています。先輩スタッフに質問しやすい環境なので、入社時は初心者でも馴染みやすいと評判です。



## 株式会社 芦原冷間鍛造

〒910-4124 あわら市田中々21-21  
TEL.0776-78-5560 FAX.0776-78-7089  
<https://awara-cf.jp/> ☒ a-reitan@beige.plala.or.jp

設立:1978年/代表:代表取締役 姉崎 健司/資本金:1,000万円/売上:700万円(月)/従業員数:16人/平均年齢:43歳/勤務地:あわら市/勤務時間 8:00~17:00/福利厚生:社保完備、70歳までの継続雇用制度、年1回の慰労会等

中学生  
職場体験  
受入れ企業

公式WEBサイト

